

神戸ビエンナーレ 2013 エンディング

JAZZ LIVE

2013.11.30 [土]・12.1 [日] 両日共に 15:00~17:30 雨天の場合中止になる場合もあります

開催場所：神戸ビエンナーレ 2013 メリケンパーク無料エリア

第14回神戸新聞地ジャズヴォーカルクィーン

宮藤 晃妃 on STAGE

11.30 1部 15:00~



●宮藤 晃妃 Vocal

1994年頃から、スタンダード Jazz に魅せられ、プロ歌手となる。2000年サキソフンプレイヤー古谷充氏に師事。2005年にデトロイトに渡米し、Jazz シンガーのリナ・ホーンの姪っ子、Kimmie Horn と共演。ソロ活動以外でも、Jazz では珍しいボーカルでのデュオユニット「Goo Baby」を結成。好評を得ている。2013年5月11日に開催された「第14回神戸新聞地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト」にて、グランプリを獲得! 14代目ジャズクィーンとして2013年9月30日にアメリカ シアトルの老舗ライブハウス「Jazz Alley」にて現地 Player 達と単独ライブを成功させる。



●名倉 学 Piano

関西一円のホテル、レストラン、バーなどでピアノを演奏する一方、キーボーディストとして大手レコード会社のアーティストのサポートで TV やイベントに出演。海外ミュージシャンとの共演も多く、ジャズからポップス、ファンク、ハードロックまで幅広く演奏している。またスタジオワーク、アレンジャーとしてもメジャーレーベルから楽曲が多数リリースされている。赤いキーボードとして世界に名高いNordキーボードの公式デモンストレーターも勤める。キャットミュージックカレッジ専門学校キーボード専攻講師。



●西川 サトシ Bass

1964年大阪生まれ、奈良在住。大阪府立東住古高校バスバンド時代からジャズを始め、関西学院大学軽音楽部に所属し、その頃からプロ活動を始める。数回のニューヨーク滞在中で本場のジャズに触れる。これまで数多くのセッション経験があり、ウィントンマルサリスやスティールドラムのオテロモリノ、中山正治など多数にわたる。現在アルトサクスの古谷充氏のネイバーフッドビッグバンド、ネオサクスバンド、氏の息子光弘氏とのサンダーベース、アコースティックトリオに所属し、トランペットの唐ロ一之カルテットやピアノの清水武志氏の地球防衛隊にも参加している。最近ではラテン音楽に興味を持ち幾つかのセッションに参加している。



●三夜 陽一郎 Drums

18才の時にオスカー・ピーターソン・トリオに憧れてドラムを始める。金子敏男、御柴袋一男両氏に師事。現在国内外問わず様々なミュージシャンとセッション、レコーディング、ライブに活動中。

11.30 2部 16:00~ Swing Jazz Cruise on STAGE



●Swing Jazz Cruise (スイング ジャズ クルーズ)

本日演奏するバンドはスイングジャズクルーズから甲南 Big Mountain J.O です。スイング ジャズ クルーズは、「大学生の手で、神戸の街とジャズを盛り上げたい」「日本のジャズ発祥の地として知られるここ神戸から、ジャズと街の魅力を多くの人に向けて発信したい」という思いから2008年より活動している団体です。ライブの企画・運営は関西圏の大学のジャズ研究会に所属する大学生が行っています。

11.30 3部 16:50~ 宮藤晃妃 & Swing Jazz Cruise [セッション]

文化創生都市宣言

阪神・淡路大震災で神戸のまちは壊滅的な被害を受けましたが、復興への過程で物資の面だけではなく、芸術や文化の力がいかに暮らしの中で支えになっているかということに改めて気づきました。そうした体験を踏まえ、神戸市は平成16年12月4日、芸術文化の力で未来へ向かっていきいきと進化するまちを目指していくため「神戸文化創生都市宣言」を行いました。

12.1 1部 15:00~

塚崎優子 on STAGE



●塚崎 優子 Vocal

Jazz をメインに Bossa Nova、Latin、アニメソング、自ら作詞を手がけたオリジナル曲など ミュージカルや映画音楽、歌・語り・演技あり Sweet & Dreamy なステージングの希少な Singer! 演劇で数々のオーディション合格。メインキャストとして多数の舞台を踏み、ミュージカルや芝居を通して舞台は愛と学ぶ。FM MOOV KOBE で2年間レギュラー番組担当、インターネットラジオ「Smooth Time」のパーソナリティ・DJ。極上の淡いピンクの妖精のイメージの Vocal、塚崎優子の伸びやかで表現豊かな心地良い甘い優しいハスキーヴォイスと 多田恵美子のエレガントで心温まるリリカルな素晴らしいピアノの合った絶品のサウンド「Smooth Sounds」ライブ好評活動中! 2013年 The14th Kobe Jazz Vocal Queen Contest finalist に選ばれ、本選初出場!



●多田 恵美子 Piano

ワールドベストシンガー・サリナ・ジョーンズに認められ デビューアルバムを全国リリース。デュークエリントンオーケストラのトランペッター・ビル・ベイリーはじめ、世界的ジャズドラマーや国内外の著名アーティストと数多く共演。ニューヨーク・カーネギーホール / ニューヨーク・ブルーノートにも出演。ユニセフハウス オープン時には、皇太子様・雅子様ご臨席のもと、荒井敦子指揮で演奏。また高円宮様ご出席のパーティーにて、ピアノトリオで演奏。東京 NHK-FM セッション505に多田恵美子トリオで出演。頭名のない音楽会に伴奏者として出演。MBS 毎日放送ラジオ《加藤ヒロユキ音楽のふりエ》の カトヒロライブコーナーにてピアノ伴奏をつとめる。



●村田 博志 Bass

14歳からエレキベースを始め、学生時代数多くのバンドで活動する。大学時代の友人とのバンド「Sugarmama」でLD&KレコーズよりCDを数枚リリース。ジャズとロックを融合させたバンドサウンドで評価を得る。同バンドではウッドベースを演奏し、作曲、アレンジなど担当する。その後、関東に活動を移し、ジャズベーシストとして関東各地で演奏する。主にジャズドラマー「バイソンプ山」氏のグループで、レギュラーベーシストとして活躍する。現在、活動を関西に移し、大阪、京都、兵庫のジャズバー、レストランなどでジャズをメインに演奏活動を行っている。



●福田 典征 Drums

福田「TELL」典征
1966年 横浜生まれ。
航空自衛隊生徒に少年自衛官として入隊するが音楽に目覚め退職。
故郷のりあさ氏、中嶋俊夫氏に師事し幅広いジャンルに対応するドラマーを目指す 現在は、岸和田市を拠点とする Red Pumps BIGBAND のリーダーとして、また自己のピアノトリオで京阪神のライブハウスやイベントに出演している。

12.1 2部 15:50~

第14回神戸新聞地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト NHK 神戸放送局長賞

satoko on STAGE



●satoko Vocal

幼少よりクラシック・ピアノを学び、学習院大学在学中に早稲田モダンジャズ研究会に所属しジャズ・ヴォーカルとしての活動をスタート。学生時代、ヨーロッパ、特に北欧のジャズに傾倒し1998年にはスウェーデン、デンマークを訪れ、当時日本ではまだ広く認知されていなかった Jeanette Lindstrom(v), Lina Nyborg(v), Lars Jansson(p), Anders Persson(p), Jacob Karlzon(p) 等のミュージシャンとの親交を深める。その後関西に居を移し、関西屈指のミュージシャンとの共演を重ね、現在も精力的なライブ活動を行っている。バラッド、コンテンポラリー系のレパートリーを得意とする他自ら作詞作曲を手がけたオリジナル曲の演奏にも力を注いでいる。2013年「第14回神戸新聞地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト」に出場し「NHK神戸放送局長賞」を受賞。



●清水 武志 Piano

中学一年の頃、ラジオでベニーグッドマン (B) を聴きジャズに目覚める。中学2年のクリスマスイベント「marco」の作曲家兼キーボードプレイヤーの松尾泰伸氏に師事。その後高専入学と同時にジャズピアノ専攻科に在籍し、大学入学の頃よりジャズピアニストとして関西、関東、四国等でライブ活動を行なう。20歳の時、兵庫のローカルテレビ局「サンテレビ」の番組「神戸ニューアングル」にて「20歳を誇るジャズピアニスト」として取り上げられる。その後ベニスト西山謙氏のバンドを経て02年に伝説的ロックドラマー・ベーカールと自己のバンド「DJ」結成。東西内外問わず様々なジャンルのミュージシャンの方々と共演。05年には高橋ジャズストリートにゲスト出演のため来日した世界的なジャズピアニストの「ワリアー」氏にピアノ演奏を絶賛される。またパワソニック VERA (テレビ受像機) のショールームに於けるデモンストレーション演奏のジャズバージョンの作曲を担当するなど様々なオリジナルジャズの世界を広げる。「みんな、ジャズはロックや!!」をモットーに、ジャンルの垣根なく他ジャンルの音楽家と深く関わる事無くただひたすらオリジナルな音楽を追求する真摯な。



●大塚 恵 Bass

兵庫県神戸市生まれ。高校で弦楽部に所属し、コントラバスを始める。北海道大学ジャズ研究会入部を機にジャズに出会い、学生の頃から札幌在住ミュージシャンとの活動を始める。2012年、ピアニスト Christian Jacob 氏の西日本ツアーのサポートを務める。坂井和介、菅玉哲郎氏に師事。現在、大阪、京都、神戸のライブハウスを中心に活動中。



●武井 努 Sax

高校時代にジャズに出会い、独学にて Sax や Flute などを習得。大学在学中からジャズを独学しつつ本格的な音楽活動をはじめる。また同時にその他のジャンルの音楽にも積極的にトライする。大学院終了後エンジニアの仕事に就くが音楽への情熱を捨てられず2001年退職。その後、数多くのライブ、セッション、レコーディングを行い、現在も精力的に活動中。また演奏だけでなく、作曲、アレンジ(とくにホーンセクションのアレンジが多い)DJMも手がける。自己のスタイルを確立しつつも、演奏するジャンルにこだわらない幅広い音楽性で、ジャズからロック、ポップス、スカ、レゲエ、ファンク、ソウル、ボサノバ、サルサ、即興音楽など、様々なジャンルをこなす多才なプレイヤー。常々、鼻歌を歌うように演奏したい、と思っている。最近では舞台役者にもチャレンジ中、また別の個性を開花させている。

12.1 3部 16:40~

第13回神戸新聞地ジャズヴォーカルクィーン

石田裕子 on STAGE



●石田 裕子 Vocal

学生時代より、クラシック、POPS、ロックなど様々なジャンルの音楽活動を始める。数年前より、京阪神地区のジャズクラブなどでライブ活動を開始。現在、サントリー酒類株式会社に勤務しながら、音楽活動を展開中。2011年1月に、ピアニスト石川武司氏、ギタリスト能勢英史氏をサポートメンバーに迎え、ファーストアルバム「A Lovely Way To Spend An Evening」をリリース。2011年、神戸 JAZZ ボーカルクィーンコンテストにて、NHK 神戸放送局長賞を受賞。2012年、同コンテストにてグランプリ受賞。



●長井 美恵子 Piano

カワイ音楽教室の講師を経て、ジャズピアニストに転向する。アメリカ パークレー音楽大学教授 竹中典氏、ベーシスト・コンポーザー 石橋敬一氏、ピアニスト竹下清志氏、フィリップ・ストレンジ氏に師事。また、数回のアメリカ旅行で、本場の Jazz に大きな影響を受ける。2001年、ネクストレコードよりジャズコーラスグループ「Heaven-Kissing」のメンバーとして、ファーストCD「Impressive Moment」をリリース。2004年、本格派ジャズボーカリスト 矢野麻衣子のファーストアルバム「Everything must change」に参加する。繊細さと華やかさを併せ持つジャズパフォーマンスには、定評がある。現在、関西のライブスポット・ホテル・イベントなど幅広く活動中。



●佐々木 研太 Bass

16歳でエレキベースを始め、ロック、R&Bなどのバンド演奏に熱中する。その後ウッドベースを手にし、ジャズのもつ創造性とエネルギーに魅了されプロを志す。独学でジャズのフィーリングやテクニクを学び、大学在学中よりライブハウスを中心に演奏活動を開始する。ジャズベーシスト須崎健二氏に師事。更なる技術習得のため、クラシック奏者 坂倉健氏に師事する。海外アーティストとのセッション経験も多く、ウッドベースとエレキベースを使い分け、ジャズを中心にジャンルにとらわれない活動を行っている。